

Star Windows Software

インストールマニュアル

目 次

1. ソフトウェア概要	3
1.1 Star Windows Driver	3
1.2 プリンタユーティリティ	5
1.2.1 プリンタユーティリティの起動	5
1.2.2 プリンタユーティリティの機能	6
2. 動作環境.....	10
2.1 オペレーティングシステム	10
2.2 対応機能（インターフェイス）	10
3. インストール.....	13
4. アンインストール	17
5. 改訂履歴.....	20
付録 1. Windows OS での Bluetooth® ペ어링方法	21
付録 2. futurePRNT から引き継ぎできない機能一覧	23

ご注意

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
- 本書にもとづいて運用した結果の影響、過失による損傷については一切責任を負うことはできませんのでご了承ください。
- 本媒体上の他者商標の帰属先は、商標について（<https://www.star-m.jp/trademarks.html>）をご確認ください。

1. ソフトウェア概要

Star Windows Software は、Star Windows Driver とプリンタユーティリティを提供します。本ソフトウェアを使用する場合、[「3. インストール」](#)を行ってからプリンタの電源を投入してください。

ソフトウェアの対象機種と F/W バージョン

対象機種	F/W バージョン
MCP20 * / 21 (mC-Print2)	Ver 1.0 以降
MCP30 (mC-Print3)	Ver 2.0 以降
MCP31 (mC-Print3)	Ver 1.0 以降
POP10 (mPOP)	Ver 1.0 以降
POP10CI (mPOP)	Ver 4.0 以降
TSP100IV	Ver 1.0 以降

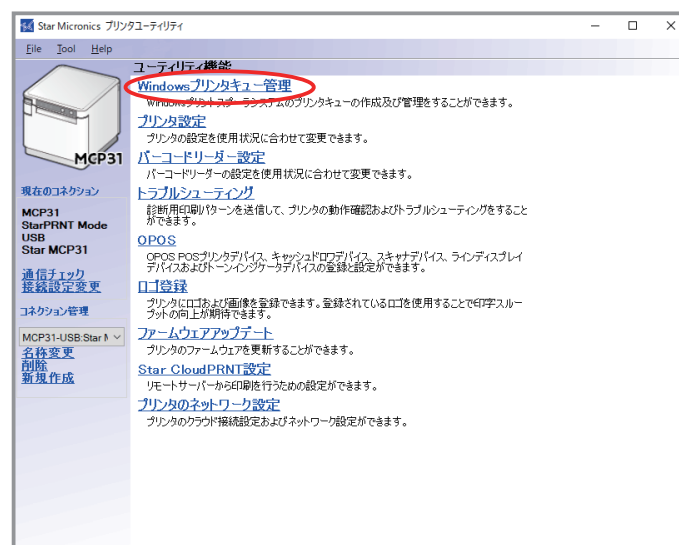
* 日本国内では通常販売しておりません。

1.1 Star Windows Driver

Star Windows Driver は、Windows アプリケーションから印刷をする際に使用されます。

Star Windows Software をインストール後、USB インターフェイスのプリンタを接続すると、プラグアンドプレイにより自動的に Star Windows Driver が使用可能となります。

USB インターフェイス以外の接続で Star Windows Driver を使用する場合には、プリンタユーティリティの「Windows プリンタキュー管理」からドライバのインストールを行ってください。



Star Windows Driver を通してプリンタを利用する際に、プリンタユーティリティの「Windows プリンタキュー管理」のプロパティから、用紙タイプ、ロゴ印刷方法などの設定を行うことができます。

プリンタドライバの内容について詳しくは、各機種種のプリンタドライバヘルプをご参照ください。



1.2 プリンタユーティリティ

プリンタユーティリティは、プリンタ本体に接続を行い各種設定を行います。Star Windows Driver を利用する場合のほか、OPOS ドライバを利用する場合など、さまざまな環境において利用することができます。プリンタユーティリティは、接続方法を定義した "コネクション" を通して利用します。

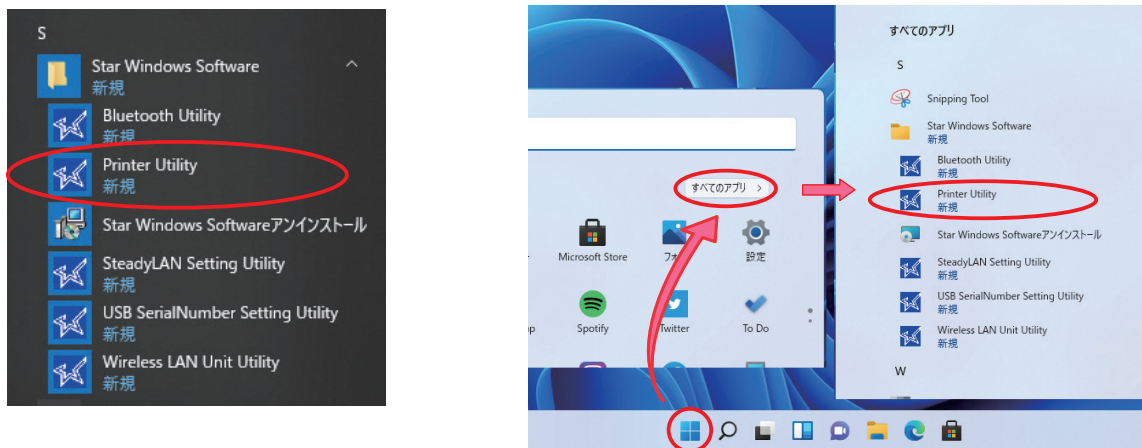
コネクションの設定方法やユーティリティ機能について詳しくは、"プリンタユーティリティヘルプ" をご参照ください。

1.2.1 プリンタユーティリティの起動

- ① Windows スタートメニューから [Star Windows Software] - 「Printer Utility」 をクリックします。

※ Windows11 環境の場合は、スタートメニューから [すべてのアプリ]-[Star Windows Software] - 「Printer Utility」 をクリックします。

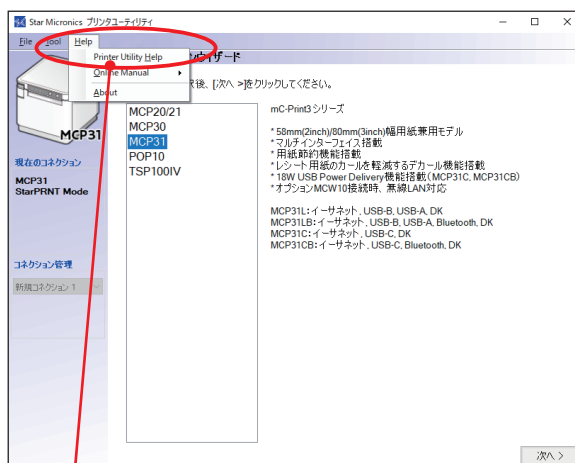
❖ Windows 11



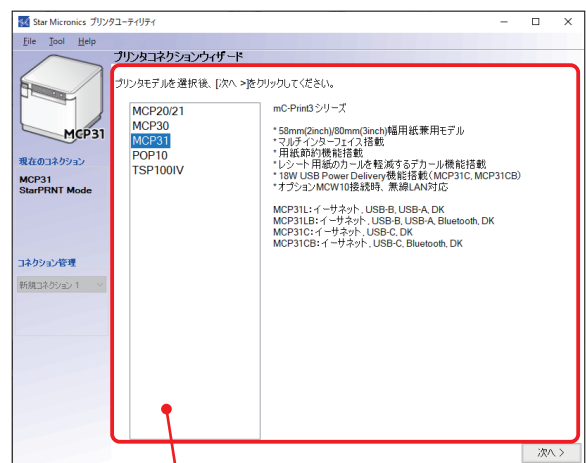
- ② 『ユーザアカウント制御』画面が表示されますので [許可] または [はい] をクリックします。

- ③ プリンタユーティリティ画面が開きます。

初めてプリンタユーティリティを起動した際には、『プリンタコネクションウィザード』が表示されます。ここで、インターフェイスの選択を行い、"コネクション"（接続設定）を作成してください。作成した "コネクション" を通して、プリンタユーティリティ機能を使用できるようになります。



プリンタユーティリティヘルプの起動



プリンタコネクションウィザード

1.2.2 プリンタユーティリティの機能

■ ユーティリティ機能

ユーティリティ機能一覧のリンクをクリックすることにより、各機能を表示します。

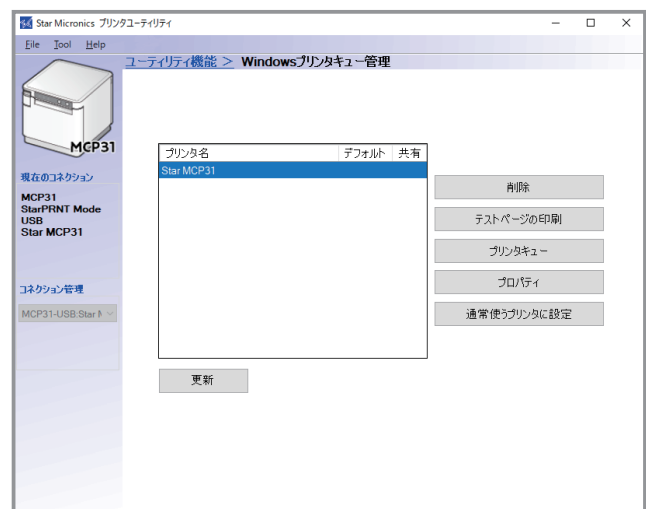
接続方法などを定義した“コネクション”を通して利用します。



• Windows プリンタキュー管理

Windows プリントスプーラシステムのプリンタキューの作成および管理ができます。

USB インターフェイス以外の接続でプリンタドライバを使用する場合には、この機能から Star Windows Driver のインストールを行ってください。



• プリンタ設定

プリンタ本体の設定（メモリスイッチの設定）を使用状況に合わせて変更できます。

【メモリスイッチとは】

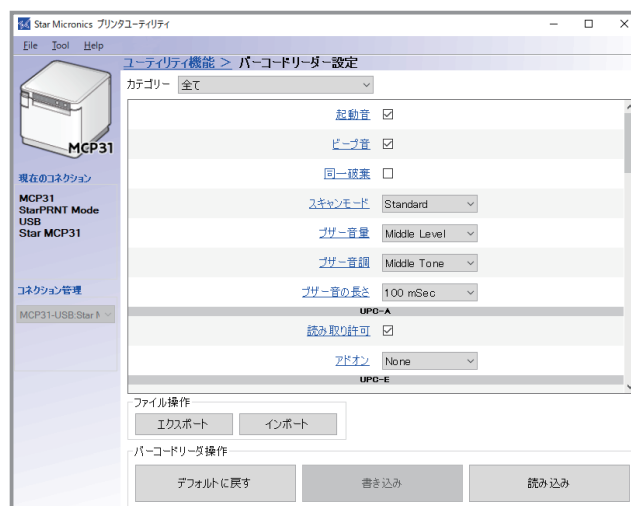
プリンタの基本的な動作を設定し、プリンタ本体に記憶することができます。



・バーコードリーダー設定

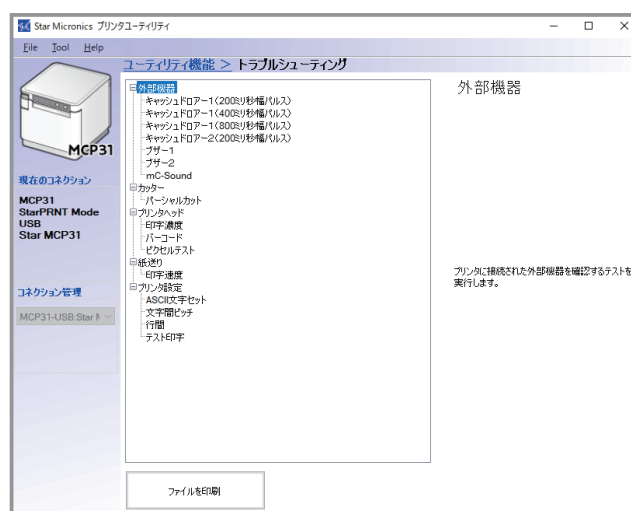
バーコードリーダーの設定を使用状況に合わせて変更できます。

(MCP20, MCP30 は非対応)



・トラブルシューティング

この機能を利用して、プリンタで利用可能な各機能の動作確認ができます。



・OPOS

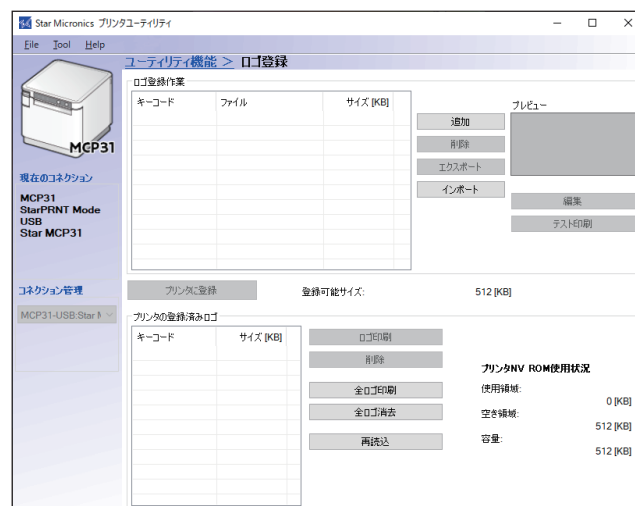
OPOS POS プリンタデバイス、
キャッシュドロワデバイス、
スキャナデバイス（バーコードリーダー）、
ラインディスプレイデバイス
（カスタマーディスプレイ）、
トーンインジケータ（mC-Sound）
の登録や設定などができます。



• ログ登録

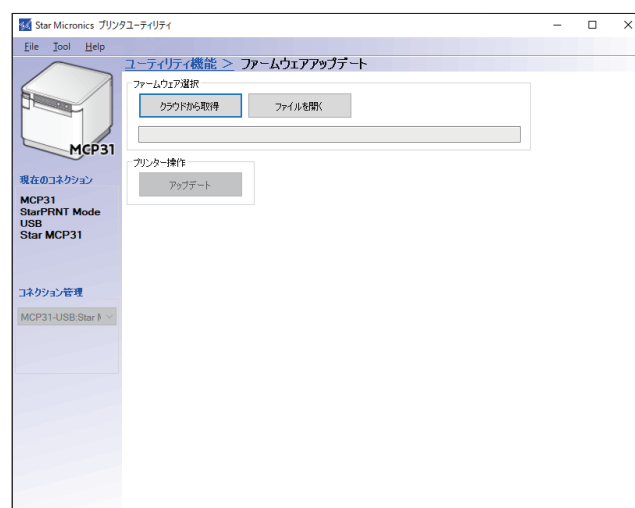
ロゴ（イメージデータ）をプリンタに登録できます。

印刷頻度の高い定型のロゴ等を登録することによって、印刷のたびにロゴデータを送信する必要がなくなり、印字スループットが上がる事が期待できます。



• ファームウェアアップデート

プリンタのファームウェアをクラウド経由、もしくはローカルファイルで更新することが可能です。



• Star CloudPRNT 設定

リモートサーバーから印刷を行うための設定が可能です。

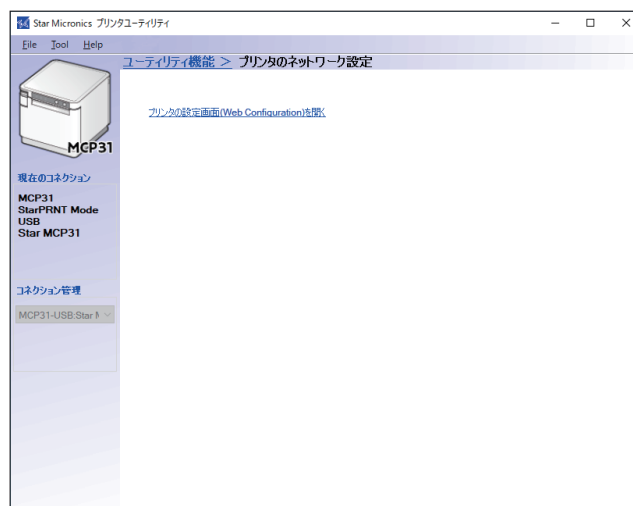
(mPOP は非対応)



• プリンタのネットワーク設定

プリンタのクラウド接続設定およびネットワーク設定が可能です。

(USB, Bluetooth インターフェイスは非対応)



2. 動作環境

2.1 オペレーティングシステム

本ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムに対応しています。

- Microsoft Windows 11* 64bit (IoT Enterprise エディションを除く)
- Microsoft Windows 10* 32bit / 64bit (IoT Enterprise エディションを除く)

*** Windows 11/ 10 制限事項**

- USB インターフェイスのプリンターを使用する場合、電源のっていない USB インターフェイスのプリンターは「デバイスとプリンター」に表示されません。

*** Windows 10 制限事項**

- Star プリンター固有の設定（ロゴの出力設定等）は Windows UI (Modern UI) からは行えませんが、デスクトップ UI から行ったプリンター設定は、Windows UI (Modern UI) 上から出力する場合にも適用されます。
- Windows UI (Modern UI) では、印刷中の用紙切れなどのエラーが表示されません。

2.2 対応機能（インターフェイス）

機種ごとの、インターフェイスで利用できるユーティリティ機能は以下の通りです。

本ソフトウェアはイーサネットインターフェイスで利用する際に、TCP 通信ポート 9100、TCP 通信ポート 9101、UDP 通信ポート 22222 を使用します。

• mC-Print2 シリーズ

mC-Print2	USB I/F Printer Class	Bluetooth I/F	Ethernet I/F
プリンター ユーティリティ	○	○	○
Windows プリンタキュー管理	○	○	○
プリンタ設定	○	○	○
バーコードリーダー 設定	○*1	○*1	○*1
トラブル シューティング	○	○	○
OPOS	○	○	○
ロゴ登録	○	○	○
ファームウェア アップデート	○	○	○
Star CloudPRNT 設定	○	○	○
プリンターの ネットワーク設定	-	-	○

*1: MCP21LB のみ

インターフェイス対応表

モデルによるインターフェイスの対応は以下の通りです。

モデル名	USB I/F	Bluetooth I/F	Ethernet I/F
MCP20 *2	○	-	○
MCP21LB	○	○	○

*2: 日本国内では通常販売しておりません

• mC-Print3 シリーズ

mC-Print3	USB I/F Printer Class	Bluetooth I/F	Ethernet I/F
プリンタ ユーティリティ	○	○	○
Windows プリンタキュー管理	○	○	○
プリンタ設定	○	○	○
バーコードリーダー 設定	○*3	○*3	○*3
トラブル シューティング	○	○	○
OPOS	○	○	○
ログ登録	○	○	○
ファームウェア アップデート	○	○	○
Star CloudPRNT 設定	○	○	○
プリンタの ネットワーク設定	-	-	○

*3: MCP30 以外

インターフェイス対応表

モデルによるインターフェイスの対応は以下の通りです。

モデル名	USB I/F	Bluetooth I/F	Ethernet I/F
MCP30	○	-	○
MCP31L	○	-	○
MCP31LB	○	○	○
MCP31C	○*4	-	○
MCP31CB	○*4	○*4	○

*4: iOS 環境を除く

• mPOP シリーズ

mPOP	USB I/F Printer Class	Bluetooth I/F
プリンタ ユーティリティ	○	○*5
Windows プリンタキュー管理	○	○*5
プリンタ設定	○	○*5
バーコードリーダー 設定	○	○*5
トラブル シューティング	○	○*5
OPOS	○	○*5
ログ登録	○	○*5
ファームウェア アップデート	○	○*5
Star CloudPRNT 設定	-	-
プリンタの ネットワーク設定	-	-

*5: POP10 のみ

インターフェイス対応表

モデルによるインターフェイスの対応は以下の通りです。

モデル名	USB I/F	Bluetooth I/F
POP10	○	○
POP10CI	○	-

• TSP100IV

TSP100IV	USB I/F Printer Class	Ethernet I/F
プリンタ ユーティリティ	○	○
Windows プリンタキュー管理	○	○
プリンタ設定	○	○
バーコードリーダー 設定	○	○
トラブル シューティング	○	○
OPOS	○	○
ロゴ登録	○	○
ファームウェア アップデート	○	○
Star CloudPRNT 設定	○	○
プリンタの ネットワーク設定	-	○

3. インストール

注意： プリンタのソフトウェアインストールや設定を行う際は、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで行ってください。

注記： USB インターフェイスでご使用の場合は「3. インストール」を行ってからプリンタの電源を投入してください。

以下の手順に従って、ソフトウェアをインストールしてください。

- ① 弊社ダウンロードサイト^{*1} からソフトウェアのパッケージ（①または②）をダウンロードして、PC に保存してください。

*1: <https://www.star-m.jp/star-windows-sw-wsw.html>

ダウンロードサイト メニュー名	ダウンロードファイル名
① Star Windows Software Vx.x.x 一括ダウンロード	Star_Windows_Software_Vx.x.x_setup.zip
② Star Windows Software Vx.x.x セットアップ実行ファイル	Star_Windows_Software_Vx.x.x_setup.exe

- ② ①で①を保存した場合
保存した zip ファイルを右クリック - "すべて展開" し、setup フォルダ内の「setup.exe」を起動してください。
- ①で②を保存した場合
保存した EXE ファイル（Star_Windows_Software_Vx.x.x_setup.exe）を起動してください。
- ③ ④以降の手順を参照してインストールを完了してください。
- ④ 『ユーザアカウント制御』画面が表示されますので、[はい]をクリックします。

❖ご使用の PC に futurePRNT がインストールされている場合

futurePRNT のアンインストールを確認するダイアログが表示されます。

ダイアログの表示内容をお読みいただき、本ソフトウェアのインストール前に futurePRNT をアンインストールしてください。

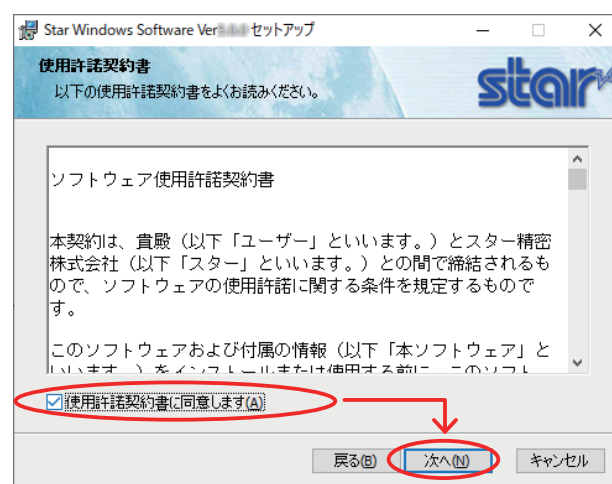
futurePRNT でご利用のプリンタの一部の設定は引き継ぎツール（Migration Assistant）を使って移行ができます。

引き継ぎない機能の詳細については「[付録 2. futurePRNT から引き継ぎできない機能一覧](#)」をご参照ください。

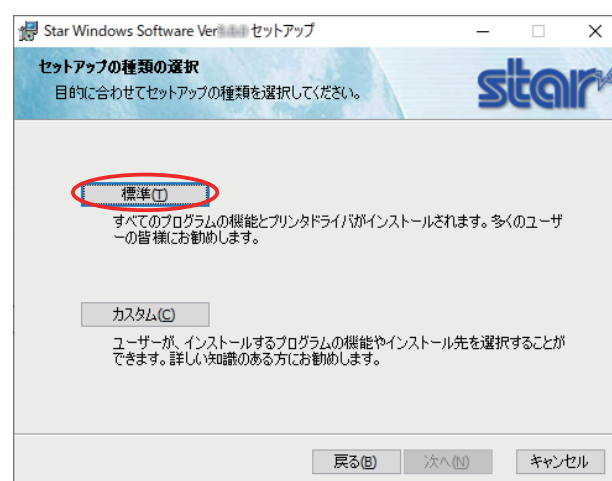
- ⑤ [次へ] をクリックします。



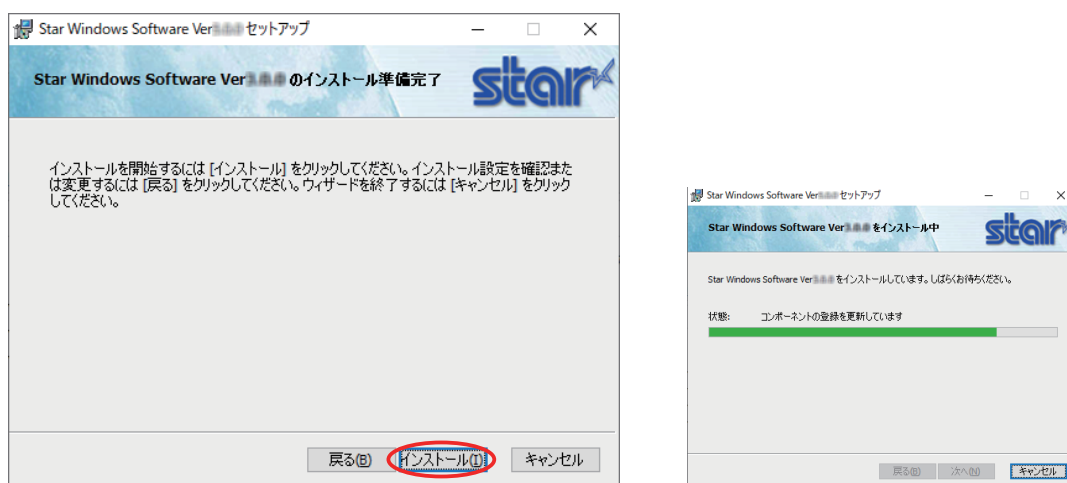
- ⑥ ソフトウェアのインストールに関する、ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。内容をお読みいただき、同意される場合は「ソフトウェアライセンス条項に同意します」にチェックを入れて[次へ]をクリックします。



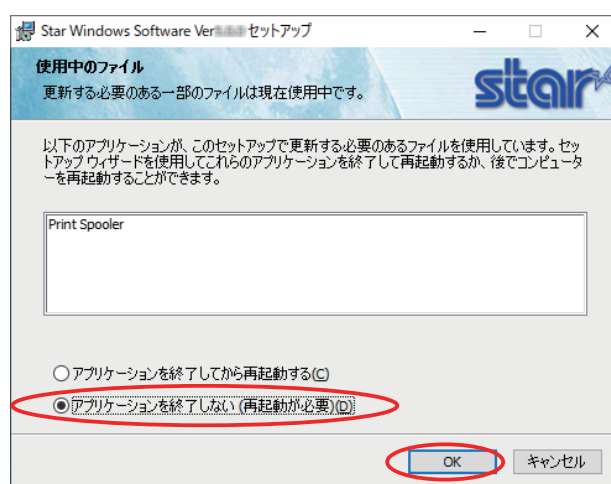
- ⑦ セットアップタイプを選択します。
[標準] をクリックすることですべてのプログラム機能をインストールします。
[カスタム] を選択すると、必要なプログラム機能のみのインストールを行うことができます。



- ⑧ [インストール]をクリックすると、インストールを開始します。



- ⑨ 以下の確認画面が表示された場合には「アプリケーションを終了しない(再起動が必要)」を選択して [OK] をクリックします。



- ⑩ ソフトウェアのインストールが完了すると、以下の画面が表示されます。
[完了] ボタンをクリックして、ウィザードを終了します。

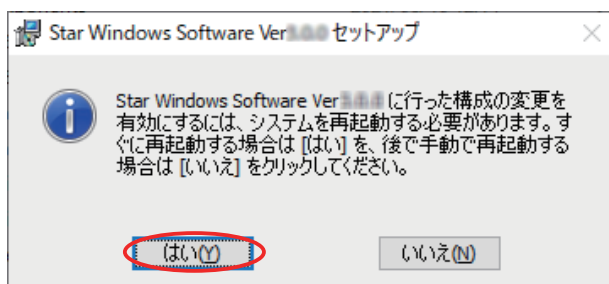


- ⑪ 以下の画面が表示されますので [閉じる] ボタンをクリックします。



無料のクラウドサービスについては、以下のサイトからも詳細をご確認いただけます。
<https://www.starmicronicscloud.com/>

- ⑫ 以下の確認画面が表示された場合には [はい] ボタンをクリックします。

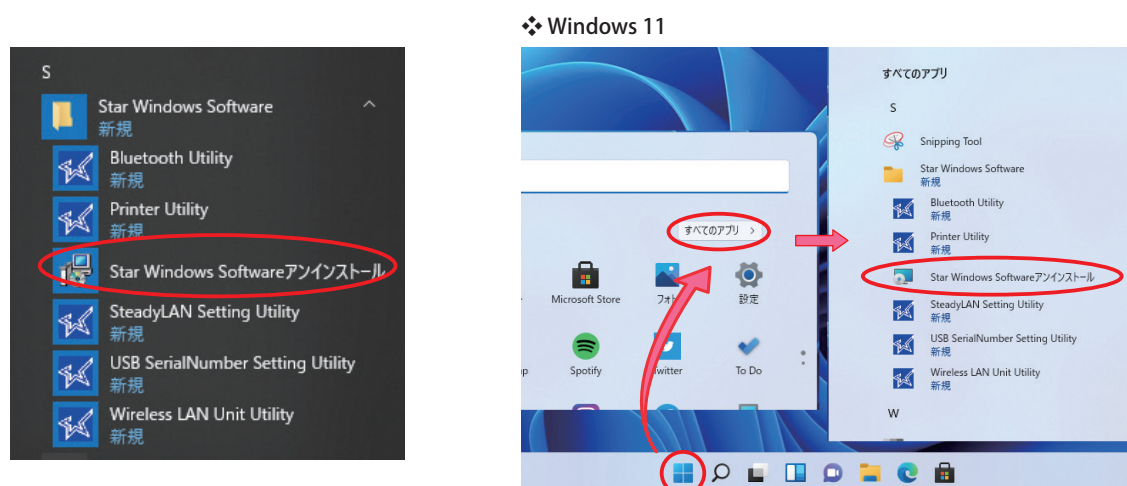


4. アンインストール

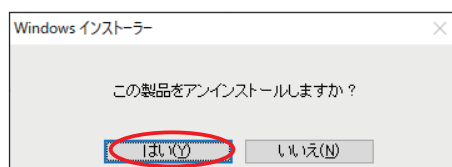
以下の手順に従ってソフトウェアをアンインストールしてください。

- ① プリンタの電源スイッチを OFF にして電源を切ります。
- ② Windows スタートメニューから [Star Windows Software] - 「Star Windows Software アンインストール」を選択します。

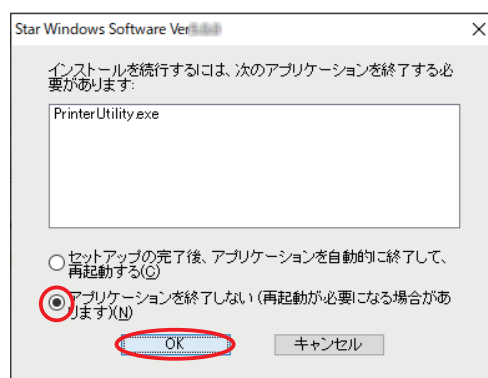
※ Windows11 環境の場合は、スタートメニューから [すべてのアプリ] - [Star Windows Software] - 「Star Windows Software アンインストール」をクリックします。



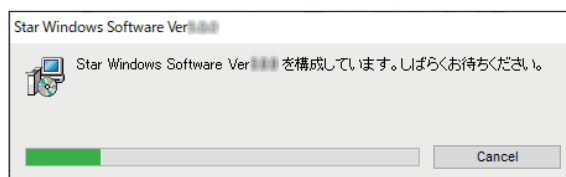
- ③ 『ユーザアカウント制御』画面が表示されますので [はい] をクリックします。
- ④ 以下の画面が表示されますので、続行する場合は [はい] をクリックします。



- ⑤ 以下の確認画面が表示された場合には「アプリケーションを終了しない」を選択して [OK] をクリックします。



- ⑥ システムの再起動に関する確認画面が表示された場合には [OK] をクリックします。
- ⑦ アンインストール用プログラムが起動し、関係する全てのソフトウェアを削除します。

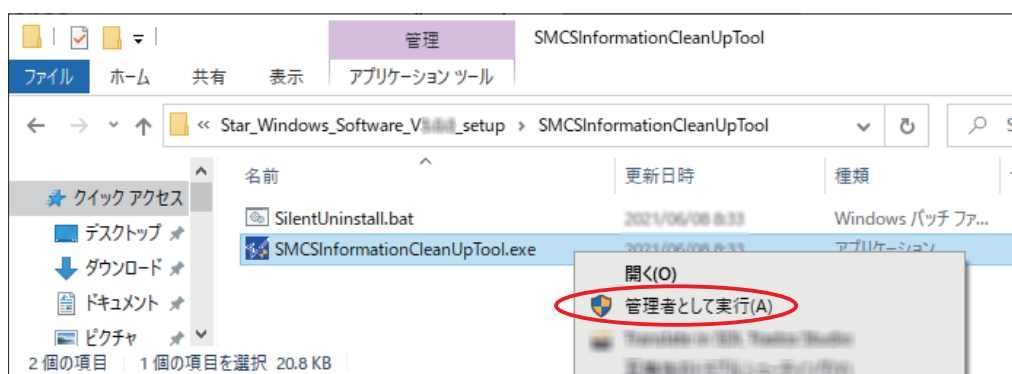


- ⑧ “スター精密クラウドサービス” を利用していた場合は、以下の手順でファイルを実行してください。

- 1) インストール時にダウンロードしたソフトウェアパッケージのフォルダを開きます。
- 2) 以下フォルダパス内の「SMCSInformationCleanUpTool.exe」 ファイルを管理者権限で実行します。

Star_Windows_Software_Vx.x.x_setup¥

SMCSInformationCleanUpTool¥SMCSInformationCleanUpTool.exe



❖ソフトウェアインストール時のパッケージを削除済みの場合

弊社ダウンロードサイト^{*1} からパッケージをダウンロードして、PC に保存してください。

*1: <https://www.star-m.jp/star-windows-sw-wsw.html>

ダウンロードサイト メニュー名	ダウンロードファイル名
SMCS クリーンアップツール	SMCSInformationCleanUpTool_Vx_x_x.zip

保存した zip ファイルを右クリック -" すべて展開 " します。

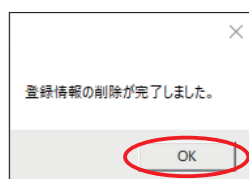
「SMCSInformationCleanUpTool.exe」 ファイルを管理者権限で実行します。

3) 『ユーザアカウント制御』画面が表示されますので [はい] をクリックします。

4) 以下の画面が表示されますので、続行する場合は [OK] をクリックします。



5) [OK] をクリックして画面を終了します。



❖ ご注意

プリンタユーティリティのアンインストール後、「コントロールパネル」-「デバイスとプリンター」に、作成したプリンタキューのアイコンが残ってしまう場合があります。

この場合、該当のプリンタキューのアイコンを右クリックし、プルダウンメニューより「デバイスの削除」を指定することでアイコンを削除することができます。



5. 改訂履歴

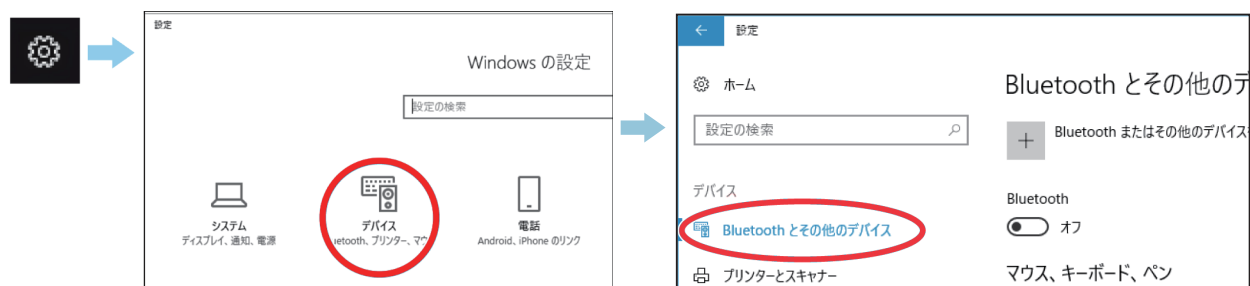
Rev. No.	改訂年月	内 容
Rev. 1.0	Oct. 2021	新規発行
Rev. 1.1	Apr. 2022	POP10CI 対応機種追加

付録 1. Windows OS での Bluetooth® ペ어링方法

推奨する手順を以下に示します。

❖ Windows 10 / 11 環境の場合

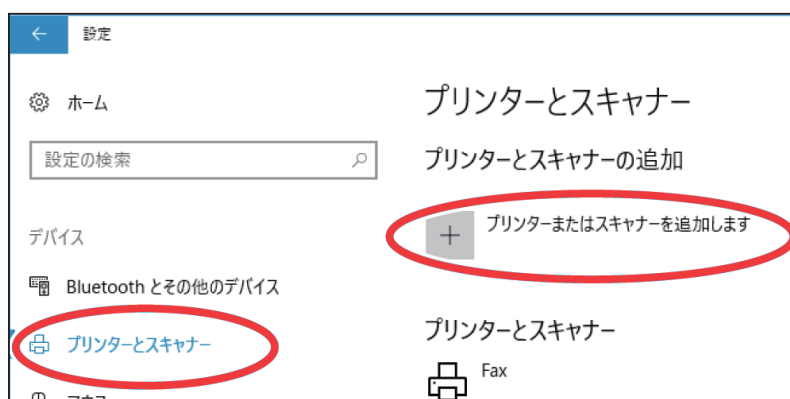
- ① Windows10：[設定]から[デバイス]-[Bluetooth とその他のデバイス]を開きます。
Windows11：[設定]から[Bluetooth とデバイス]を開きます。



- ② Bluetooth を ON にします。



- ③ [プリンターとスキャナー]-[プリンターまたはスキャナーを追加します]を選択します。



- ④ 接続する Bluetooth デバイスを選択して、[デバイスの追加] をクリックまたはタップします。
Bluetooth デバイス名を変更している場合は、変更後のデバイス名を選択してください。

❖プリンターの Bluetooth アドレス確認方法

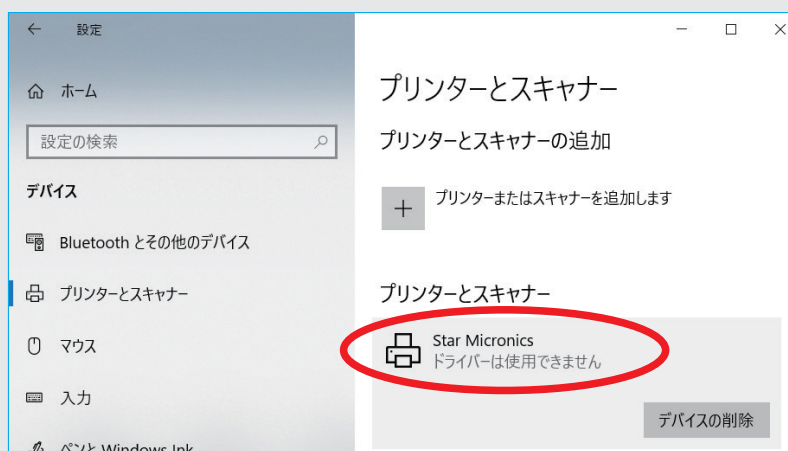
プリンターのテスト印字に記載されています。
テスト印字の方法については、オンラインマニュアルをご参照ください。



- ⑤ 接続が完了すると " ペアリング済み " と表示されます。



しばらくすると、「ドライバーは使用できません」と表示されますが、ペアリングは完了しています。



ここで作成されたデバイス名は、Windows アプリケーションから印刷する際に指定する送信先には使用できません。「[Windows プリンタキュー管理](#)」を参照して、別途プリンターキューを作成してください。

付録 2. futurePRNT から引き継ぎできない機能一覧

futurePRNT をご利用の環境に本ソフトウェアをインストールした場合、引き継ぎツール（Migration Assistant）を使用して一部の設定を引き継ぐことができます。

以下は、futurePRNT でサポートしている機能のうち本ソフトウェアへの引き継ぎ対象ではない機能の一覧です。

- プリンタドライバ用紙サイズ
- ECO 設定 (トップマージン)
- ECO 設定 (オンデマンド)
- JavaPOS
- 仮想シリアルポートエミュレーター
- 仮想 TCP/IP ポートエミュレーター
- 文字列拡張機能
- バーコード
- ジャーナル / コピー機能
- フォント変換
- Write Printer API
- ロゴ / トリミング (透かし設定)
- ロゴ / トリミング (トリミング)
- ロゴ / トリミング (ロゴ印刷位置)
- USB シリアルナンバー
- スター精密クラウドサービス
- 180 度反転印字 (Windows プリンタドライバを使用していない場合)
- クローンシリアルナンバー



<https://www.star-m.jp>